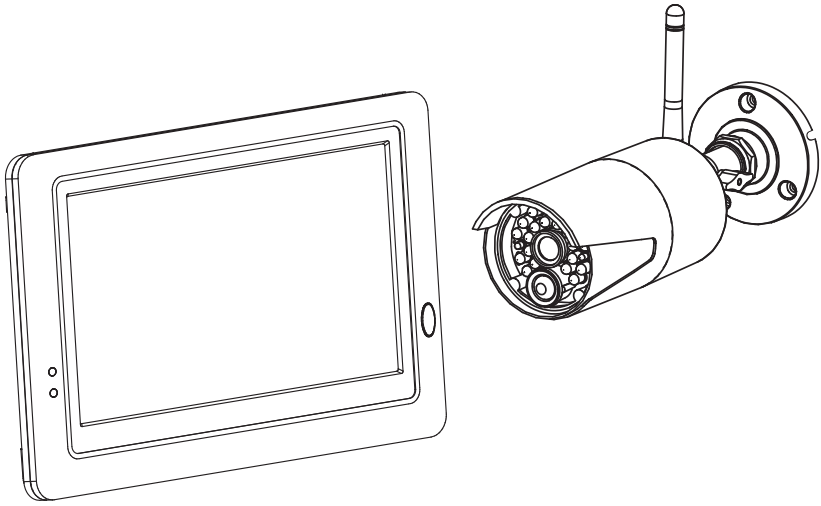
ハイビジョン
無線カメラ
＆モニターセット

（HD Digital Wireless Network Surveillance Monitor）

AT-8801

取扱説明書
このたびは当社製品をお買い求めいただき、
誠にありがとうございます。



Available on the App Store　Google play

Please read carefully before using this equipment.

目次

安全上のご注意	3
必ずお読み下さい	5
1. カメラの取り付け	13
2. モニターの設置	15
3. メニュー選択	18
3. 1 カメラ設定	20
3. 2 録画設定	22
3. 3 システム設定	24
3. 4 警報システム	27
3. 5 再生	26
3. 6 音量設定	27
4. リモートアクセス機能	28
4. 1 設定する前に	28
4. 2 iPhone/iPad用iHomeCamの設定と使用方法	28
4. 3 AndroidシステムのiHomeCamの設定と使用方法	35
トラブルシューティング	42
注意事項	42
保証書	裏表紙

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管して下さい。

■絵表示についてこの「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左の例は感電注意）

禁止の行為であることを告げるものです。（左の例は分解禁止）

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

免責事項

■本製品は、盗難防止器具・犯罪防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害について当社は一切責任を負いません。
■製品の設置（取り付け・取り外しなど）により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
■地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
■本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。

⚠警 告

水などがかからないようにしてください

■本製品の上に（花瓶・植木鉢・コップ）や水などの入った容器または金属物をおかないで下さい。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

分解・改造しないでください

■本機を分解・改造しないで下さい。事故・火災・感電の原因となります。

異常状態で使用しないでください

■発熱していたり煙がでている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、
火災・感電の原因となります。その際はすぐに使用を中止して下さい。
煙や臭いが出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼下さい。
お客様による修理は危険ですので絶対にしないで下さい。

この機器の取扱について

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
■本機や付属のケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないで下さい。
機器やケーブルが破損し火災・感電の原因となります。
■濡れた手で本製品に触れないで下さい。感電の原因となります。

異物が入った時は

■本製品を濡らさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意下さい。
■異物や水が本機内部に入った場合は、ACアダプターを抜いて、販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。

落としたり、破損したときは

■本機を落としたりして、破損した場合は使用を中止し販売店にご連絡下さい。

⚠ 注 意

設置場所について

■ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
■湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
■炎天下の車中等に放置しないで下さい。製品が加熱・変形・溶解することがあります。

この機器の取扱について

■本機に付属のケーブルをストーブ等の熱器具に近づけないで下さい。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
■ACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。
ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ご使用にならないときは

■ご使用にならないときは、安全のためACアダプターと接続を行わないで下さい。

本機の上に重い物を置かないで下さい

■重い物を置くとバランスが崩れて、転倒・落下等でけがの原因となることがあります。

必ずお読みください

お客様が本製品をご使用する際に必要な情報、注意点を記載しております。
ご使用前に内容をよくお読みになり製品の特性や最適な設置環境等をご理解いただいた上でご利用下さい。

本製品の無線技術について

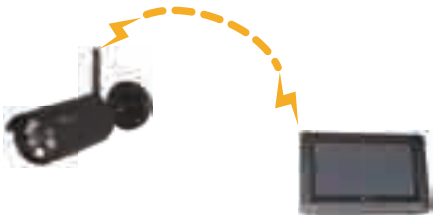
当製品は２．４GHz 帯を使用した [高度化小電力データ通信システム] で電波法に基づく基準認証を受け、総務省令で定められた [技適マーク] を取得しております。

工事設計認証番号　　R 201-140152

電波到達距離について

本製品に記載の電波到達距離は、当社が行った見通し環境でのテスト結果に基づいた動作確認距離となっております。実際に製品を使用した場合と結果が異なる場合があります。コンクリートやへーベル材等の壁面をまたぐ場合、電波が飛ばない恐れがあります。

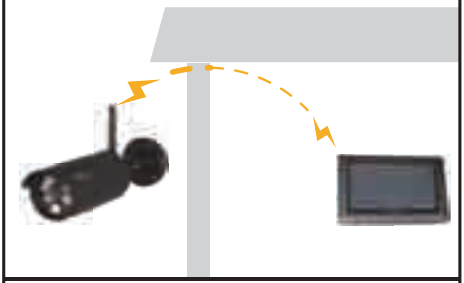
見通し環境 ＝ 遮蔽物の全く無い環境



遮蔽物が無い場合、電波が遮断されないため電波到達距離が最大まで届く。

障害物ゼロなら最大 200m

実際の環境 ＝ 遮蔽物や障害物がある



遮蔽物（壁など）がある場合は電波が遮断され到達距離が短くなります。

木造家屋での電波送信目安は
およそ 20 ～ 40m

防水性 (保護等級) について

カメラ [AT-8811Tx]

IEC が定める保護等級 [IP66] に相当する防水仕様となっており、直接雨のかかる屋外環境下においても使用が可能です。
※電源コネクタ部は防水構造ではありませんのでご注意ください。

受信機 [AT-8812Rx]

防水保護は付いておりません。
設置の際は水に濡れない場所、ホコリ振動の少ない場所へ設置してください。

昼間撮影について

直射日光や強い光が当たる場所（逆光状態）や背景が白っぽい場所、では被写体の映像が映りにくくなります。
本製品は可視光の他に赤外線を映すレンズが搭載されているため、撮影環境や被写体の材質によって実際目に見える色とは異なって映ることがあります。

夜間撮影について

周囲が暗くなると内蔵の明るさセンサーが働き夜間撮影モードに切り替わります。
夜間撮影モードになるとカメラから赤外線を投光し赤外線撮影を行います。
[AT-8811Tx] は最大 7 mまで赤外線撮影が可能です。夜間撮影時は昼間の映像に比べてノイズが多く、被写体や周囲の明るさで映像品質が異なります。
夜間撮影モードは周囲が明るくなると自動で終了します。

画面の焼きつきについて

長時間変化のない映像 (動きのないカメラ映像やメニュー画面など) を画面上に表示させたままにするとモニター画面に残像 (焼きつき) が残ってしまう場合があります。
確認の必要がない場合などはモニターの電源を切るなどしてください。

動体検知機能 (モーション検知) について

本機の " 動体検知機能 " は、カメラに装備される人感センサーによって行われます。
このセンサーは、PIR(Passive Infra Red) 赤外線センサーです。
周囲の温度変化を感知して動作する仕組みとなっております。
感知エリアは、カメラ正面より前方約 5 メートル以内、左右に約 60 度ずつの範囲となっております。この感知エリア内で、熱（赤外線）を発生する物体（人や動物）が移動することによってセンサーが動作します。

注意）赤外線の変化を感知するため、動物（犬や猫）によって作動することがあります。
注意）感知エリア内であっても、人が全く動かない場合は感知しない場合があります。
注意）気温と人の体温が近い場合や、ゆっくりした移動には感知しにくい場合があります。
注意）センサーに向かって正面より近づく場合は感知距離が短くなる場合があります。

時計機能について

本機の時計表示は内蔵クロックによってカウントされております。
内蔵クロックは月差で約 1 分程度の誤差が発生します。
防犯上の録画は時刻表示が重要になる場合がありますので、定期的に時刻をご確認の上、正しい時刻に補正して頂くことをお願い致します。

SD (SDHC) カードについて

本機は microSD 規格に準拠した 2GB までの microSD カード (FAT16 形式) と、
4 ～ 32GB までの microSDHC カード (FAT32 形式) に対応しております。
マルチメディア (MMC) カードには対応しておりませんのでご注意ください。

大切なデータを失わないために

万が一 micro ＳＤカードが故障した場合、データの復旧は出来ません。
一般的に micro ＳＤカードは消耗品として位置づけがされており、長期間の保存先としては十分な媒体ではありません。
必要なデータ (証拠映像など) は他の記録媒体にもバックアップを取っていただくことをお勧めいたします。

記録内容に関する免責事項

本機の不具合または外部メディアの不具合・修理など、何らかの原因で本機または接続した外部メディアのデータが破損・消滅した場合の記録内容の保障、それに付随するあらゆる損害について、当社はいかなる場合においても一切の責任を負いません。
またいかなる場合においても当社では保存データの修復・復元・複製は致しかねますのであらかじめご了承ください。

他の無線機器への影響、同製品を複数セットでご利用頂く場合

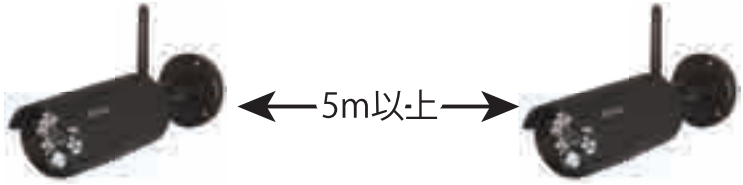
設置箇所で無線 LAN や他の 2.4GHz 帯の無線機器を利用している場合、いずれかの電波環境が悪くなる場合があります。当社製無線システムを同一箇所や近距離間で複数セットご利用の場合、電波帯域に制限があるため最大 2 セットまでの使用を推奨しております。

他の無線機器との近接利用について

本機をご利用の際、設置箇所で無線 LAN や他の 2.4GHz 帯の無線機器と併用させる場合は、各機器同士への影響を少なくする為、各機器のアンテナをできるだけ離す (1m 以上) ようにしてください。

同一機器の近接利用について

同一機器 (特にカメラ側) の近接利用はできません。
同一の場所でシステムを 2 セットご使用になる場合は、
【カメラ同士 5m 以上】の間隔をあけて設置してください。



電源配線の延長について

電圧降下が発生する為、本機は DC 側の電源延長ができない仕様となっております。
電源の延長の際は、AC100V 側のコンセント電源を延長タップ等でご用意ください。
お客様のご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

電源配線の延長例

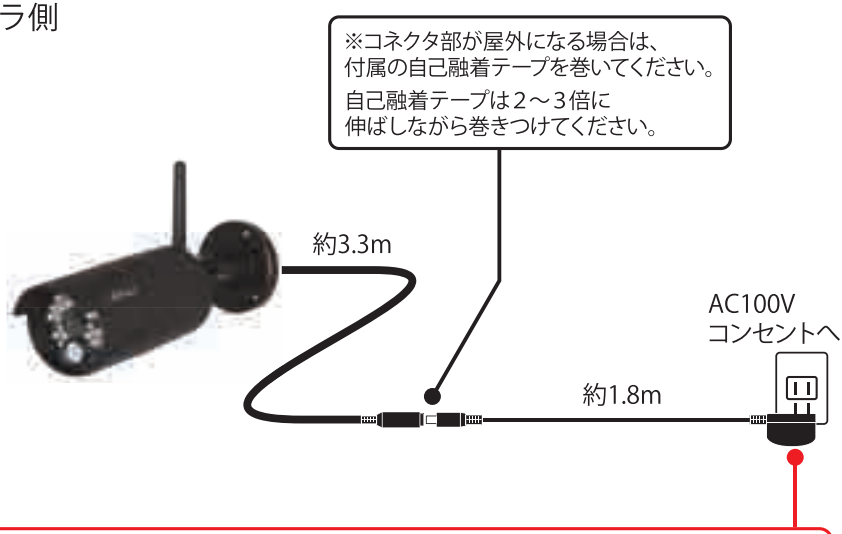
電源の入切について

設定した受信情報 (ペアリング設定) が消えてしまう場合がありますので機器の電源は頻繁に入 / 切しないでください。映像を見ていない場合でもなるべく電源を入れておくようにしてください。

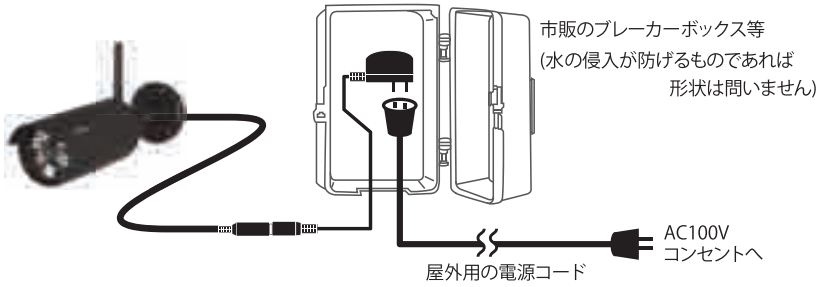
取付前の映像確認

アンテナの取付けが終わりましたら、下記の図を参考にカメラへの配線を行ってください。
配線が終わりましたらそれぞれのＡＣアダプタをコンセントに差し込んで電源を入れてください。電源を入れて電波が届く状態にあれば映像が映し出されます。

カメラ側



屋外側電源配線について



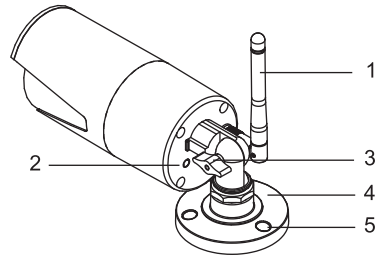
“コンセントが近くにない”または”形状が合わずうまく差し込み出来ない”などで設置できない場合は、市販の”屋外用の電源コード”等を利用してカメラの近くまでAC100V コンセントを用意してください。
その際、コンセントとAC アダプターの連結部分が屋外に露出してしまう場合は市販のブレーカーボックス等を用いて水の浸入が無いように保護してください。

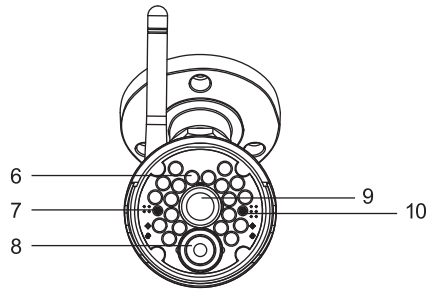
セット内容

●カメラ　×１　●モニター　×１
●ACアダプター　×２　（カメラ用：９V／800mA、モニター用：５V／２A）
●ネジ　×３　●アンカーナット　×３
●アンテナ　×１　●六角レンチ　×１
●SDカード　●LANケーブル
●自己融着テープ
●お使いになる前に
●取扱説明書（本書）

製品レイアウト

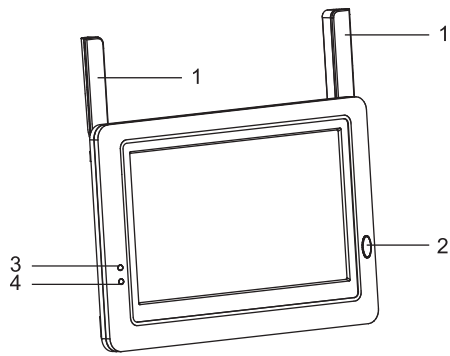
カメラ

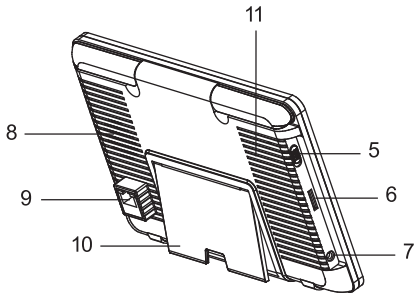




1. アンテナ
2. ペアリングボタン
3. ブラケットのつまみ
4. ブラケット
5. 取付穴
6. 赤外線LED
   （20個の赤外線暗視用LED）
7. 電源ランプ
8. 人感センサー
9. レンズ
10. 明るさセンサー

モニター

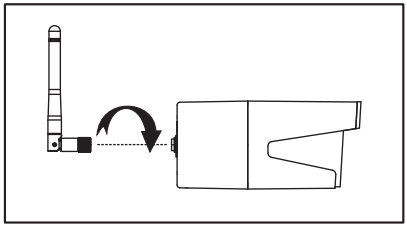




1. アンテナ
2. メニューボタン
3. 警告 LED
4. 電源 LED
5. 電源ON／OFFスイッチ
6. micro SD カードスロット
7. 電源入力端子
8. スピーカー
9. LAN端子
10. スタンド
11. リセットボタン

1 カメラの取り付け

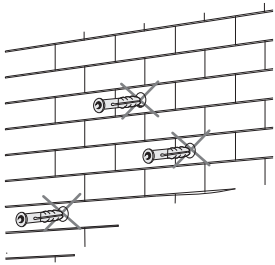
1.1 カメラ背面のアンテナ端子にアンテナを回して締めます。

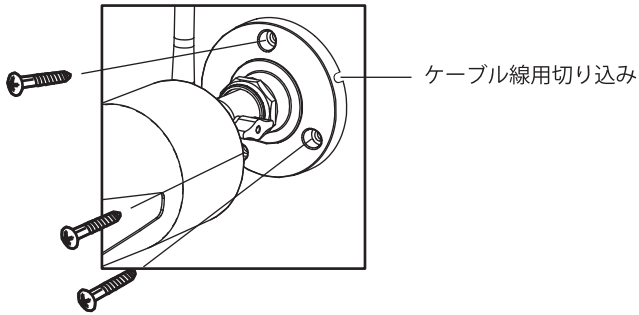


1.2 付属の取り付けネジを使って、カメラを固定します。

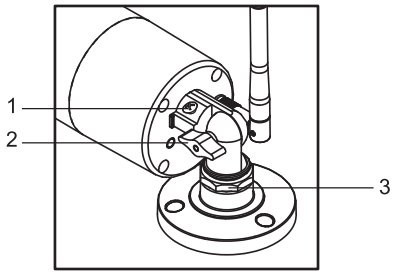
- 取り付ける位置の表面に
  ネジ穴の印をつけます。
- 付属のネジを使って
  取り付ける位置の表面にカメラを
  しっかり装着します。

※コンクリートの壁面に設置する際は、
付属のアンカーナットをご使用ください。



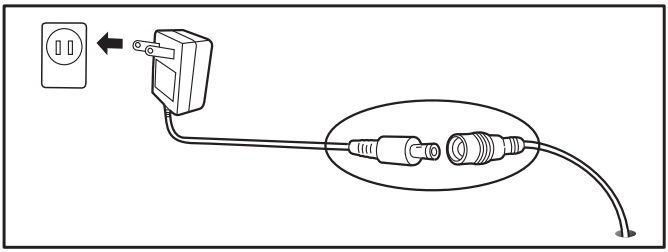


1.3 調整ねじ（1）とブラケットのつまみ（2）と
調節リング（3）を左回りに回して緩めます。



1.4 カメラのアングルを監視したいところまでセットし、
調整ネジとブラケットのつまみをしっかり締めて、
調節リングを固定します。

1.5 電源アダプターのプラグとカメラのケーブルソケットを接続します。
電源プラグが完全に押されているか（ささっているか）確認します。
電源アダプターのプラグは100Vのコンセントに差し込みます。

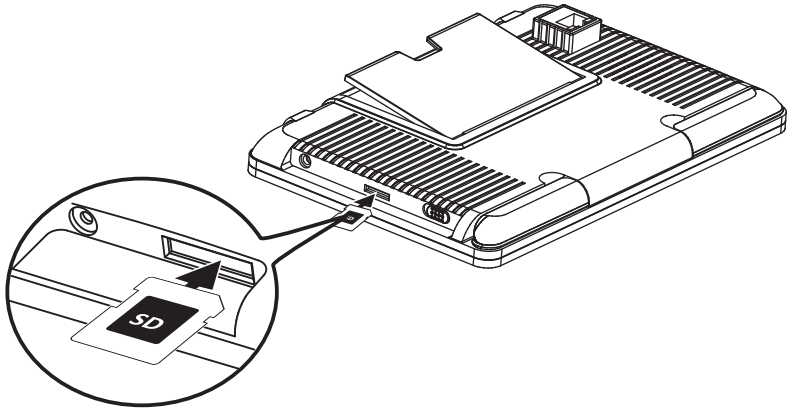


2 モニターの設置

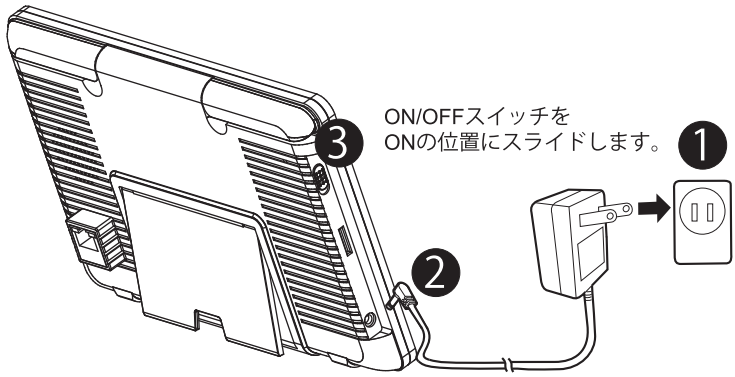
2.1 液晶画面を保護している保護フィルムを剥がします。

2.2 本機はmicro SDカードを差し込みます。
最大32GBの容量のmicro SDカードを使用できるようになっています。

注意：4GBのmicro SD カードを同梱しております。



2.3 ACアダプタをコンセントに差し込み、
電源スイッチをONの位置にスライドします。



2.4 LED表示

LED	状態
⚠ 警告	カメラが動作を感知したとき青く光ります。 システムの接続が不十分だと、青く点滅します。
電源	電源が入っているときは緑に光ります。 充電中はオレンジに光ります。 バッテリー残量が少ないときは、赤く点滅します。

注意: 警告表示がなされた場合、画面をタップするか
メニューボタンを押すことによって警告LEDは消えます。

2.5 ライブ画面の切り替え

カメラ接続台数により表示画面が変わります。
カメラを1台のみ接続の場合、ライブ画面表示は1画面だけの表示になります。
カメラを2台接続の場合、ライブ画面表示は１画面と２画面で切り替えられます。
カメラを3台または4台接続の場合、ライブ画面表示は１画面と４画面で切り替えられます。
２画面または４画面から１画面にしたい場合は、所定のカメラ画像をタップします。もう一度画面をタップすると、２画面か４画面に戻ります。

2.6 スクリーン上のアイコン

1. カメラナンバー：カメラナンバーを表示します。
   - （白のアイコン）　：カメラの映像と音声を使用している場合に表示します。
   - （灰色のアイコン）：カメラの映像のみ使用している場合に表示します。
2. 電波の強度：受信されている電波の強度を表します。
3. 映像解像度：見ているカメラの現在の映像解像度を表示します。
   - VGA（640×480）
   - HD（1280×720）

4. 録画モード：
録画には３つのモードがあります。
（モーション録画／スケジュール録画／マニュアル録画）

モーション録画

スケジュール録画

5. 録画状態：録画アイコンが赤の場合、録画している
状態を表示しています。このアイコンをタップして
手動で録画を始めることが出来ます。
もう一度タップすると録画がストップします。

6. バッテリー容量：バッテリー容量を表示します。

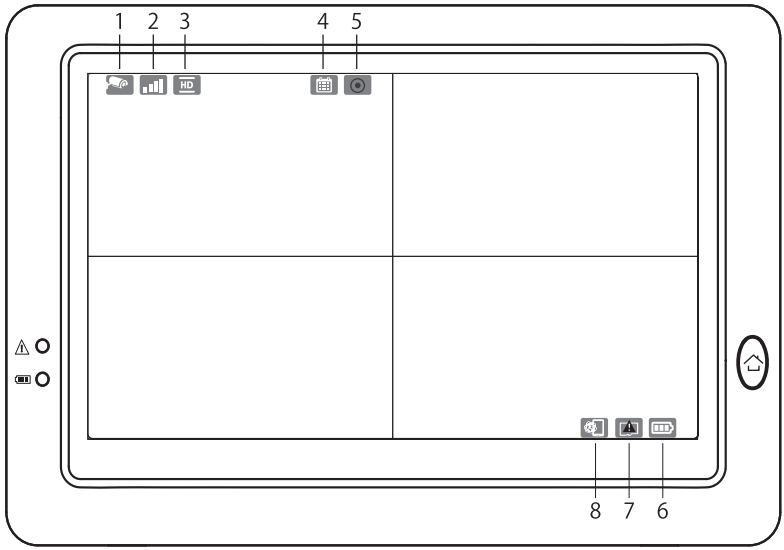
7. micro SD カードの状態：micro SD カードがカードスロットに
差し込まれると、このアイコンが表示されます。

micro SD カードがカードスロットに差し込まれています。

micro SD カードはカードスロットに差し込まれていません。

micro SD カードの容量がいっぱいです。
メニューの上書き録画しない設定を選択し、
容量がいっぱいのときに表示されます。

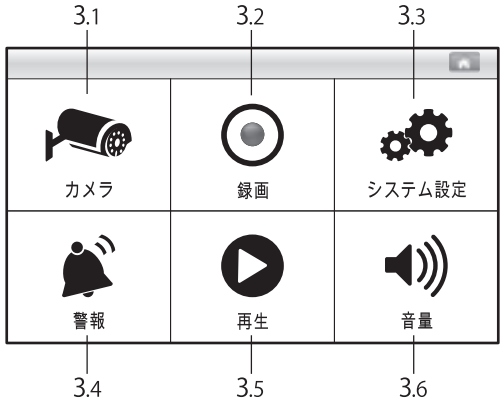
8. リモートアクセス：アイコンはアプリケーションを使用して
本機と接続されている状態を表示します。
アプリケーションが本機と接続されていない場合は
このアイコンは表示されません。



3 メニュー選択

モニター上のメニューボタンを押すと画面に
メインメニューが表示されます。
画面がメインメニューの時もう一度ボタンを押すと
ライブ画面に戻ります。

注意：メニューの中で画面をタップしない場合、
またはメニューボタンを押さない場合は、
一分後に画面は自動的にライブ画面に戻ります。



メニューレイアウト（割り付け）

メインメニュー

- カメラ設定
  - ペアリング（カメラ1-4）
  - カメラ選択（カメラ1-4）
  - 映像解像度（VGA／HD）
  - 明るさ（Level 1-8）
  - フリッカー防止（50Hｚ／60Hz）
- 録画設定
  - モーション検知感度（高／中／低）
  - 録画モード（モーション録画／スケジュール録画／マニュアル）
  - 録画時間（５分／１０分／１５分）
  - 録画管理
    - SD初期化
    - 上書き
- システム設定
  - 日時設定
  - パワーセーブ（３分／１０分／切）
  - 初期値
  - 言語（Enflish／Espanel／日本語）
  - ソフトウェアアップデート
  - ネットワーク
    - IP設定
    - 情報
- 警報設定
  - モーション警報（トーン１／トーン２／トーン３／OFF）
  - Unlink警報（トーン１／トーン２／トーン３／OFF）
  - バッテリー低下警報（トーン１／トーン２／トーン３／OFF）
  - 警報音量（低／中／高／OFF）
  - 繰り返し間隔（１５秒／３０秒／１分）
- 録画再生
- 音量設定
  - レベル０－９

3.1 カメラ設定

3.1.1 ペアリング：

追加のカメラを購入した場合、ペアリング機能を使って
カメラを追加できます。カメラの背面にあるペアリング
ボタンを押してください。

1. ペアリングしたいカメラの番号をタップすると、カメラ選択の下部に動く小さなペアリングのマークが表示されます。
2. カメラ背面にあるペアリングボタンを押してください。
カメラの赤い電源ランプが点滅します。
3. 数秒経った後、電源ランプの点滅が止まり画面上に映像が表示されます。これでカメラのペアリングは完了です。

3.1.2 カメラ選択：

カメラ選択機能は複数台のカメラを使用する場合に
設定します。もし一つのカメラだけ選択しているときは
ライブ画面にはシングル画面のみ表示されます。
２つのカメラを選択したときは、ライブ画面はシングル画面か
２画面の間で切り替えることが出来ます。
３つか４つのカメラを選択したときは、ライブ画面はシングル
画面か４画面の間で切り替えることができます。

3.1.3 映像解像度：

サブメニューは、それぞれのカメラの解像度を
HD(1280×720)、VGA(640×480)に設定できます。

3.1.4 明るさ：

サブメニューでは設定されているそれぞれのカメラの
明るさを変えることができます。繰り返してタップすると
レベル１から８まで明るさを設定できます。

3.1.5 フリッカー防止：

室内の照明の影響によりフリッカー現象が発生した場合、
フリッカー防止機能が正しくセットされていないという
表示がでます。ご使用の地域をタップして設定してください。

注意＊　50Hz：東日本
　　60Hz：西日本

3.2 録画設定

録画メニューには４つのサブメニューがあります。

3.2.1 モーション検知感度

サブメニューでは繰り返しカメラをタップしてそれぞれの
モーション検知感度を変えることが出来ます。
低・中・高から選んでください。

3.2.2 録画モード：

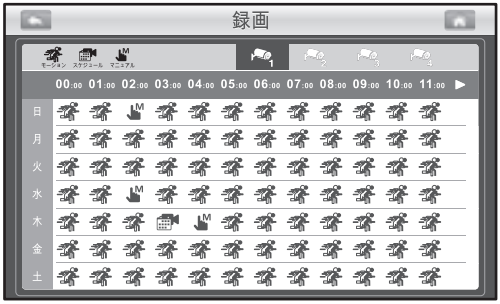
面をタップして時間区間を選び、録画モードを設定します。
このシステムには３つの録画モードがあります。

マニュアル録画 M ，スケジュール録画 ，モーション録画

初期状態では、は各カメラでのモーション録画設定が
可能となっております。

(1) 設定したいカメラをタップします。
(2) アイコンをタップして録画モードを選択できます。
(3) アイコン ▶ をタップし午後１２時から２３時まで
表示されている次のページへ移動します。

注意： モーション検知：カメラよりモーション検知
された時に録画が始まり、最後に動きが検知されて
から３０秒後に録画は止まります。



3.2.3 録画時間：

サブメニューでは各録画ファイルの録画時間を
5分、10分、15分と選ぶことができます。

3.2.4 録画管理：

２つのサブメニューがあります。

1. SDカードの初期化：初期化のアイコンをタップして
micro SD カードを初期化します。
カード内にあるすべてのファイルが取り消されます。

注意：✓をタップしますと初期化が行われます。

2. 録画設定
「上書き録画する」：容量がいっぱいになった場合に古い
データを消去しながら新しい記録を行うことができます。
「上書き録画しない」：容量がいっぱいになり次第、録画が
停止します。

※万が一の際に録画がストップしないように、「上書き録画する」に
しておくことをお勧めいたします。

3.3 システム設定

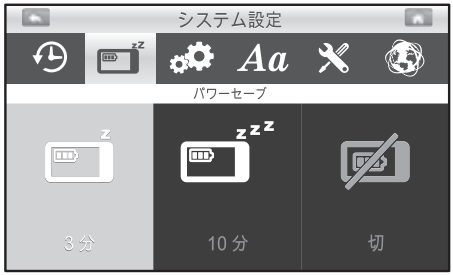
6つのサブメニューがあります。

3.3.1 日時設定：

日付と時間を設定します。＋とーのアイコンをタップして設定してください。

3.3.2 パワーセーブ：

バッテリーの電源を節電するため、パワーセーブ機能は所定の時間後にディスプレイの表示を切ります。OFFにするとパワーセーブ機能は働きません。表示が消えた時は、再び表示するためにスクリーンをタッチしてください。



3.3.3 初期値設定：

システム設定を初期化します。

注意：ペアリングの設定には初期値設定機能による影響はありません。カメラはモニターと接続したままになります。

注意：✓をタップしますと初期化が行われます。

3.3.4 言語：

表示の言語を変えることが出来ます。

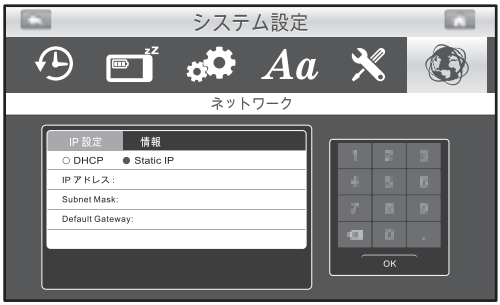
3.3.5 ソフトウェアアップデート：

モニターがインターネットに繋がっている場合、アップデート可能な新しいバージョンのファームウェアを自動検知します。新しいバージョンのファームウェアが検知された場合 は に変わります。 をタップし、画面上の指示に従ってシステムをアップデートしてください。

注意： ファームウェアのアップデート作業中は操作できません。
電源スイッチをオフにしないで下さい。
アップデートには時間がかかる場合があります。
ACアダプタを接続した状態でアップデートして下さい。

3.3.6 ネットワーク：

1. IP設定：
DHCPかStatic IP を選択することができます。
通常はDHCPを選択してください。



2. 情報：
画面の情報はネットワーク設定のUIDナンバーが含まれています。パスワードの初期値は12345で、スマートフォンやタブレットを使ってパスワードを変えられます。

3.4 警報設定

警報メニューは５つのサブメニューがあります。

3.4.1 モーション警報：

モーション検知の警報音を選択できます。

3.4.2 Unlink警報：

カメラの接続が切れたときの警報音を選択できます。

3.4.3 バッテリー低下警報：

バッテリーが低下しているときの警報音を選択できます。

3.4.4 警報音量：

警報音の音量調節ができます。

ボリュームを上げる／下げるかの警報音を選択できます。

3.4.5 繰返し間隔：

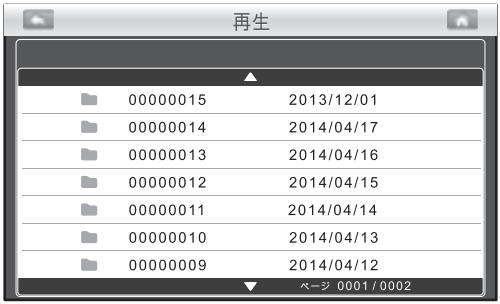
警報の間隔の継続時間を調節できます。

注意：警報音が聞こえているとき、画面をタップするか
メニューボタンを押すと警報音が止まります。

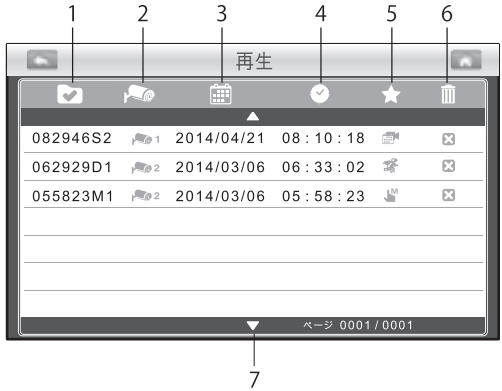
3.5 再生

録画ファイルは日付と時間によって表示されます。

1. 見たい映像のフォルダーをタップします。



2. ファイルをタップしてイベントを再生します。



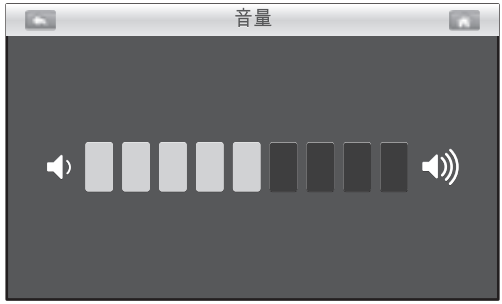
1．ファイル名
2．カメラ番号
3．録画日
4．録画時間
5．録画モード
6．⊠ ボタンを押すことで削除できます
7．次のページ

3. 録画ファイルを再生する時、再生ボタン ▶ を押すと一時停止／再生、右のボタン ⏭ を押すと早送り、左のボタン ⏮ を押すと巻き戻しになります。

1．ファイル一覧に戻ります
2．カメラ映像に移動します
巻き戻し
3．一時停止／再生
4．早送り
5．巻き戻しスピード
6．先送りスピード

3.6 音量設定

音量を上げるボタン と下げるボタン を押して音量レベルを調節します。



4 リモートアクセス機能

スマートフォンやタブレットを使って世界中のどこからでも
カメラ映像を見ることができる機能です。

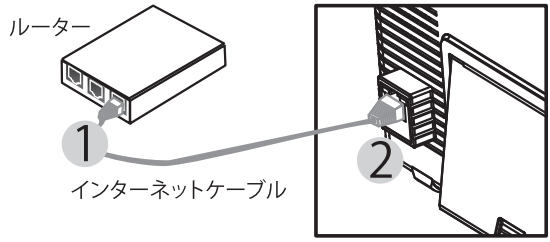
注意：この説明書のスマートフォンやタブレットの画像は、実際の画像と違う場合があります。

：リモートアクセスはインターネット回線を利用するため実際の映像に対して若干のタイムラグが発生します。お使いのインターネット回線の状況やパソコンの性能によってタイムラグが大きくなる場合があります。

4.1 設定する前に

1. ご自宅のルーターの電源が入っており、インターネットに接続できる事を確認してください。
2. リモートアクセス機能を使用するには、イーサネット接続が必要です。イーサネットケーブルを　モニターのLAN端子と接続し、もう一方の端をルーターの端子に繋いでください。

注意：モニターの近くに無線機器がある場合は、
なるべく離してご使用下さい。



3. iHomeCamアプリのダウンロード：iHomeCamアプリをダウンロードするには“Apple App Store”か”Android Market (Google Play)にて、あなたのスマートフォンやタブレットで ”iHomeCam”を探してください。その後、画面上の指示に従ってインストールしてください。

4.2 iPhone/iPad用iHomeCamの設定と使用方法

4.2.1 デバイスの追加

1. スマートフォンやタブレットでアプリをダウンロード、インストールした後、アイコンをタップしアプリを始めてください。

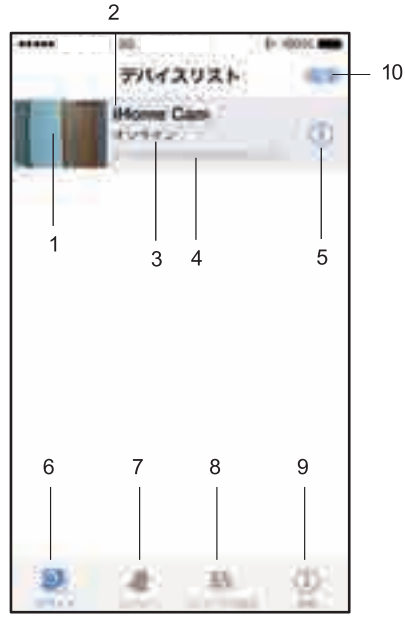
2. ”Add ”(装置を追加する)をタップしてから、”QR Code”をタップしモニターの背面に記載されているQRコードを読み取ってください。

3. あなたのスマートフォンやタブレットを持ってQRコードに近づけてQRコードを読み取ります。
QRコードがうまく読み取れたとき、UIDフィールドは自動的に取得されます。

4. カメラに新しい名前をつけるか、表示されているそのままの名前を使ってください。
初期値としてパスワード“12345”を入力し、“保存”をタップして設定を終了します。

4.2.2 デバイス（装置）リスト画面

“デバイス”アイコンをタップしますとデバイスリスト画面になります。



1. デバイス写真：デバイスの写真をタップすることによって、ライブ画像を見ることができます。

2. デバイス名：アプリを始めた際に追加したすべてのデバイスが画面に表示されます。

3. デバイス状況：
   a. オンライン：デバイス状況が“オンライン”の場合、デバイスの写真をタップすることでライブ画像を見ることができます。

   b. 接続：デバイス状況が“接続中”の場合、オンラインに変わるまで少し待ってください。

   c. オフライン：デバイス状況が“オフライン”の場合、デバイス名の隣の アイコンをタップし、“接続ステータス”をタップしてインターネットと接続されているかを確認してください。

4. デバイスUID
5. デバイス編集機能
6. デバイスリスト機能
7. イベント検索機能
8. デバイスの追加機能
9. アプリ情報
10. デバイスの削除：“編集”アイコンをタップし消したいデバイスを選んでください。

4.2.3 ライブ画像画面

デバイスリスト画面上のデバイス写真をタップしカメラからのライブ画像を見ることが出来ます。初期値ではカメラ１が表示されます。複数のカメラ接続を設定した場合は、“チャンネル”をタップし見たいカメラを選んでください。

1. カメラ情報：カメラ状況、ビデオ解像度、オンライン番号、接続の品質が含まれます。
2. 写真：アイコンをタップして撮った写真すべてを見れます。
3. スナップ写真：アイコンをタップしてあなたのスマートフォンやタブレットに写っているカメラの写真を保存できます。
4. 音声ON/OFF：アイコンをタップして音声を聞くことができます。もう一度タップすることで音声は消えます。
5. 戻る：タップするとデバイスリスト画面に戻ります。
6. デバイス名とカメラナンバー
7. カメラ選択：複数のカメラ接続を設定した場合は、タップして他のカメラを選択することができます。

4.2.4 デバイス設定（デバイスの編集）

デバイスリスト上のデバイス名横にあるアイコン ⓘ をタップし画面を“デバイスの編集”に切り替えます。

1. 戻る：タップする事でデバイスリスト画面に戻ります。

2. 名前：デバイス名を変えたいときはタップしてください。

3. パスワード：他のスマートフォンやタブレットのデバイスパスワードを変えたときは、変更したパスワードを打ち込む必要があります。

4. 詳細な設定：タップして詳細設定に入ります。

5. 再接続：カメラ状態がオフラインの場合、タップしてインターネットと接続しているか再確認してください。

4.2.5 詳細な設定

設定画面の中では初期のパスワードを変更したり、映像画質を変えたり、警報の時間の間隔を増やしたり減らしたりすることができます。

1. パスワードの修正：
パスワードを変えたいときはこの列をタップして変更を行ってください。

注意：
パスワードを変更した場合、モニターのメニュー上で新しいパスワードを確認できます。

2. ビデオ品質：
ビデオ品質を変えたい時は、タップして変更を行います。

注意：　高：高画質、低フレームレート
中：標準画質、標準フレームレート
低：高フレームレート、低画質

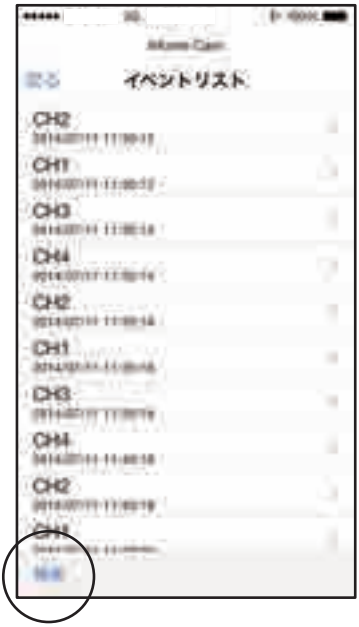
3. アラーム間隔：タップして、イベントがあるときに警告するアプリの時間を調節します。警報を消す機能もあります。

4. デバイス情報：モニター本体の基本ネットワーク情報を確認する事ができます。

4.2.6 イベント検索機能

デバイスリスト画面から“Event”アイコンをタップし › をタップします。イベントリスト画面から“検索”をタップして他の検索条件を選択します。“カスタム”をタップするとイベント検索するための日付や時間を指定できます。

注意：イベントファイルの再生は
ビデオのみで音声はありません。

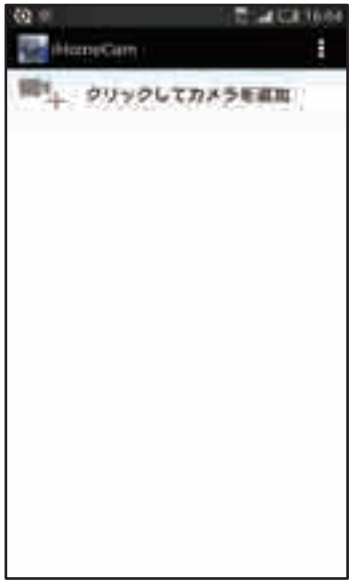


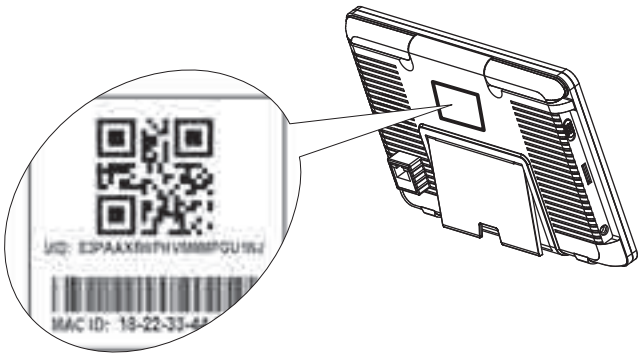
4.3 AndroidシステムのiHomeCamの設定と使用方法

4.3.1 デバイスの追加

1. スマートフォンやタブレットでアプリをダウンロード、
インストールした後、アイコンをタップしアプリを始めます。

2. カメラアイコンをタップし“カメラの追加”画面に入ります。
UIDとQRコードはモニターの背面に書かれています。
UIDを自分で入力するか、“スキャン”をタップしてQRコード
を読み取ります。スマートフォンやタブレットを持ってQR
コードに近づけ読み取ってください。





3. デバイスに新しく名前を付けるか、表示されているそのままの名前を使ってください。初期パスワードとして“12345”を入力した後“OK”をタップしデバイス設定を終了します。

4.3.2 デバイス（装置）リスト画面

1. デバイス写真：
デバイス写真をタップすることによって、ライブ画像を見ることができます。

2. デバイス名：アプリを始めた際に、追加したすべてのデバイスが画面に表示されます。

3. デバイス状況：

a. オンライン：デバイス状況が“接続されました”の場合、デバイスの写真をタップしてライブ画像を見ることができます。

b. 接続：デバイス状況が“接続中です”の場合、オンラインに変わるまで少し待ってください。

c. オフライン：デバイス状況が“接続できませんでした”の場合、デバイス名の隣の ⊙ アイコンをタップし、“再接続”をタップしてインターネットと接続されているかを確認してください。

4. デバイスUID
5. アドバンス機能
6. カメラ追加機能
7. カメラ追加／説明／終了（アプリの終了）

4.3.3 ライブビデオ画面

デバイスリスト画面上のデバイス写真をタップしカメラからのライブ画像を見ることが出来ます。初期値ではカメラ１が表示されます。複数のカメラ接続を設定した場合は、“CH”アイコンをタップして、見たいカメラを選んでください。

1. カメラ情報：
   カメラ状況、ビデオ解像度、オンライン番号、接続の品質が含まれます。
2. 写真：
   アイコンをタップして撮った写真すべてを見ることができます。
3. スナップ写真：
   アイコンをタップしてあなたのスマートフォンやタブレットに写っているカメラの写真を保存できます。
4. 音声ON/OFF：
   アイコンをタップして音声を聞くことができます。
   もう一度タップすることで音声は消えます。
5. デバイス名とカメラナンバー
6. カメラ選択：複数のカメラ接続を設定した場合は、タップして他のカメラを選択することができます。

4.3.4 デバイス設定（デバイスの編集）

デバイスリスト画面上の“アドバンス機能”アイコンをタップし、“カメラの編集”を選択して“カメラ編集”に画面を切り替えます。

1. 名前：
   デバイス名を変えたいときはタップしてください。
2. パスワード：
   他のスマートフォンやタブレットのデバイスパスワードを変えたときは、正確なパスワードを打ち込む必要があります。
   パスワードを変更する場合は、”4.3.5詳細な設定”にて変更してください。
3. 詳細な設定：
   ”詳細”をタップして”詳細な設定”画面に入ります。

4.3.5 詳細な設定

“カメラの編集”画面上の“詳細”をタップし“詳細な設定”に入ります。

1. セキュリティコード：
   パスワードを変更したい場合は”変更”をタップし変更を行ってください。

注意：
パスワードを変更した場合、モニターのメニュー上で新しいパスワードを確認できます。

2. ビデオ品質：
   タップしてビデオ品質を変えます。ライブ画像の再生時に、適切な画質に調整してください。

注意：　高：高画質、低フレームレート
中：標準画質、標準フレームレート
低：高フレームレート、低画質

3. アラーム間隔：
タップして、イベントがあるときに警告するアプリの時間間隔を調節します。警報を消す機能もあります。

4. デバイス情報：モニター本体の基本ネットワーク情報を確認することができます。

4.3.6 イベント検索機能

デバイスリスト画面上の“アドバンス機能”をタップして、“イベントの表示”を選択し画面を“イベント表示”に切り替えます。

1. 検索条件に合ったビデオイベントのすべてのリストがここに表示されます。

注意：
イベントファイルの再生はビデオのみで音声はありません。

2. アイコンをタップして他の検索条件を選択します。“カスタマイズされた検索”をタップするとイベント検索するための日付や時間を指定できます。

トラブルシューティング

カメラからの信号(映像が)をモニターが受信できない
・カメラとモニターのスイッチが入っているか確認してください。
・ACアダプターの電源プラグが最後まで押し込まれているか
確認してください。

カメラからの電波がよわい、もしくは妨害されている場合
・カメラとモニターの間に使用している電子レンジがある場合は、
電子レンジを他の場所に動かすか電源を切ってください。
・カメラとモニターの設置場所をご確認ください。
電波の到達距離は、見通しの良い環境（遮蔽物の全くない環境）
で約２００メートルとなっております。

注意事項

・すべてのパーツや付属品は子どもの手の届かないところに
保管してください。
・レンズの表面の指紋や汚れは、カメラ性能に悪い影響を与える
可能性があります。レンズの表面を指で触るのは避けてください。
・レンズが汚れてきましたら汚れやほこりを飛ばし、柔らかい乾いた
布でレンズを清掃して下さい。
・この製品に付属する専用のACアダプターのみをご使用下さい。

保証書

この保証書は、取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常・故障が発生した場合、
保証書の記載内容にて無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの際に、販売店印、ご購入日が記入されていることを確認してください。
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

製品名　： AT-8801	**販売店（店名、住所、電話番号）**
保証期間：　お買い上げ日より1年間	
ご購入日：　　年　　月　　日	
お名前　：	**印**
ご住所　： 〒	
電話番号：　　（　　）	

無償修理規定

1. 取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で異常・故障が発生した場合は、上記の期間無料修理いたします。
2. 無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店もしくは当社へお申し付けください。
3. 保証対象は、当製品のみを保証対象機種とさせていただきます。オプション・追加機器は各々の機器の保証規定に準じます。
4. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社へご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   ◇使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   ◇火災、地震、水害、落雷、そのほかの天災地変、公害やガス害、塩害、異常電圧による故障及び損傷
   ◇指定外の電源（電圧）による故障及び損傷
   ◇本書のご提示がない場合
   ◇本書にお買い上げ日、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   ◇製品に異常が認められない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。

※本書は上記に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店もしくは当社へお問い合わせください。

□本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず当社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

□本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計・製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、当社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

□本書に記載された仕様・デザイン・そのほかの内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

株式会社 キャロットシステムズ
（オルタプラスサポートセンター）

〒 252-0131
神奈川県相模原市緑区西橋本 1-16-18
TEL　042-775-2266　　FAX　042-775-7373
修理品等をご送付される際は、上記の住所までご送付ください。

408-000777-00